

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 シナジーマーケティング株式会社

コード番号 3859 URL <http://www.synergy-marketing.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷井 等

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 西尾 知一

TEL 06-4797-2300

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,895	6.3	250	42.5	287	20.1	306	69.5
25年12月期第3四半期	2,723	9.2	175	1.4	239	26.3	180	121.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △387百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 178百万円 (81.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	33.79	33.61
25年12月期第3四半期	20.08	19.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	4,594	4,175	89.7	493.80
25年12月期	5,378	4,543	83.5	497.09

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 4,123百万円 25年12月期 4,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,184	10.7	331	10.1	342	△11.8	305	6.8	33.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)  
(注) 当事業年度における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	9,256,000 株	25年12月期	9,097,600 株
26年12月期3Q	59,155 株	25年12月期	59,143 株
26年12月期3Q	9,076,723 株	25年12月期3Q	9,011,601 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）におけるわが国経済は、日銀による金融緩和策や政府の成長戦略に基づく経済政策を背景に、企業業績の回復や生産活動に持ち直しの動きが見られ、消費税増税後の影響により一時的に減退した個人消費にも徐々に持ち直しの動きがみられております。

その一方で、海外では新興国経済における成長鈍化や欧州での政情不安などの景気先行きの不透明感は払拭できず、国内経済への影響も懸念されております。

当社が属するインターネット市場では、スマートフォンやタブレット端末などの通信端末の普及拡大や各通信事業者の相次ぐ高速通信回線の提供に伴って、クラウドコンピューティングやビッグデータ市場にさまざまなサービス形態が登場し、その市場は拡大の一途をたどっております。

当社においても、このようなクラウドコンピューティングやビッグデータに対する需要の拡大は、大きなビジネスチャンスととらえており、当第3四半期連結累計期間は、既存のクラウドサービスの販売に加えて新たなクラウドサービスの研究開発に注力して参りました。

その一環として、Synergy!360やiNSIGHTBOXといったクラウドサービス群の新機能を強化するとともに、よりセキュアでスピーディに利用頂けるよう基盤の強化も積極的に行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,895,086千円（前年同期比6.3%増）となりました。営業利益は、250,463千円（前年同期比42.5%増）、経常利益は287,087千円（前年同期比20.1%増）となりました。また、投資有価証券売却益363,998千円を特別利益に、減損損失42,227千円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は306,714千円（前年同期比69.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

従来、エージェント事業に計上しておりました、ソフトウェアライセンス販売に係る売上高及び売上原価を、管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、クラウドサービス事業に計上しております。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① クラウドサービス事業

クラウドサービス事業は、「Synergy!360」「Synergy!」「Synergy!LEAD on force.com」「iNSIGHTBOX」などのクラウドサービス群の提供を行っており、売上高は1,311,527千円（前年同四半期累計期間1,195,786千円、前年同期比9.7%増）、セグメント利益は370,499千円（前年同四半期累計期間196,317千円、前年同期比88.7%増）となりました。

#### ② エージェント事業

エージェント事業は、当社クラウドサービスを利用している既存顧客に対して、システム開発やメール配信代行、広告代理等の受託業務の提案を行っており、売上高は735,789千円（前年同四半期累計期間695,175千円、前年同期比5.8%増）、セグメント損失は130,608千円（前年同四半期累計期間36,073千円のセグメント損失）となりました。

#### ③ eホールセール事業

eホールセール事業は、連結子会社である株式会社ビーネットがECショップ向けに商品の卸売りをを行う事業であり、売上高は847,769千円（前年同四半期累計期間832,356千円、前年同期比1.9%増）、セグメント利益は8,736千円（前年同四半期累計期間8,438千円、前年同期比3.5%増）となりました。

#### ④ その他

その他は、連結子会社であるSMIA Corporationの、米国における市場調査事業等の業績を示しております。セグメント損失は5,120千円（前年同四半期累計期間296千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて515,153千円増加し、3,180,683千円となりました。これは、現金及び預金が506,338千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,299,999千円減少し、1,413,449千円となりました。これは、投資有価証券が1,247,635千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、4,594,133千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて51,322千円減少し、366,713千円となりました。これは、未払法人税等が78,680千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて366,294千円減少し、51,498千円となりました。これは、投資有価証券の評価益に係る繰延税金負債が399,590千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、418,212千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて367,228千円減少し、4,175,920千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が706,198千円減少したものの、四半期純利益を306,714千円計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月7日公表の業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社グループは、事務所等の不動産賃貸契約に基づく退去における原状回復に係る債務の履行時期を合理的に見積もることが可能となったため、当第3四半期連結会計期間より、資産除去債務を計上しております。

なお、この変更が損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,763,234	2,269,573
受取手形及び売掛金	439,764	427,427
有価証券	205,885	310,520
商品及び製品	55,570	42,719
仕掛品	11,945	30,853
その他	195,959	111,988
貸倒引当金	△6,829	△12,398
流動資産合計	2,665,530	3,180,683
固定資産		
有形固定資産	96,729	135,281
無形固定資産		
のれん	30,999	1,681
ソフトウェア	335,423	235,652
その他	25,248	66,643
無形固定資産合計	391,671	303,978
投資その他の資産		
投資有価証券	2,117,899	870,263
その他	113,682	110,223
貸倒引当金	△6,533	△6,298
投資その他の資産合計	2,225,048	974,188
固定資産合計	2,713,449	1,413,449
資産合計	5,378,979	4,594,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,165	58,419
未払法人税等	184,165	105,484
賞与引当金	16,842	12,499
その他	123,862	190,309
流動負債合計	418,036	366,713
固定負債		
資産除去債務	-	33,295
繰延税金負債	417,793	18,202
固定負債合計	417,793	51,498
負債合計	835,829	418,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,165,938	1,199,440
資本剰余金	1,125,114	1,158,615
利益剰余金	1,394,056	1,655,289
自己株式	△30,635	△30,647
株主資本合計	3,654,474	3,982,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	816,452	110,253
為替換算調整勘定	21,973	30,219
その他の包括利益累計額合計	838,426	140,473
少数株主持分	50,248	52,749
純資産合計	4,543,149	4,175,920
負債純資産合計	5,378,979	4,594,133

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,723,318	2,895,086
売上原価	1,455,706	1,477,362
売上総利益	1,267,612	1,417,724
販売費及び一般管理費	1,091,898	1,167,260
営業利益	175,714	250,463
営業外収益		
受取利息	17,170	18,183
受取配当金	7,304	11,405
為替差益	38,661	4,467
その他	1,092	2,567
営業外収益合計	64,229	36,624
営業外費用		
自己株式取得費用	83	-
支払手数料	820	-
営業外費用合計	904	-
経常利益	239,039	287,087
特別利益		
投資有価証券売却益	170,846	363,998
特別利益合計	170,846	363,998
特別損失		
公開買付関連費用	-	73,291
固定資産除却損	2,738	2,374
減損損失	76,853	42,227
その他	2,000	-
特別損失合計	81,592	117,894
税金等調整前四半期純利益	328,293	533,191
法人税、住民税及び事業税	165,145	222,950
法人税等調整額	△22,148	77
法人税等合計	142,996	223,027
少数株主損益調整前四半期純利益	185,296	310,163
少数株主利益	4,307	3,449
四半期純利益	180,988	306,714



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	185,296	310,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,979	△706,198
為替換算調整勘定	8,027	8,245
その他の包括利益合計	△6,951	△697,953
四半期包括利益	178,345	△387,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,037	△391,239
少数株主に係る四半期包括利益	4,307	3,449

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	クラウドサ ービス事業	エージェン ト事業	eホールセ ール事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,195,786	695,175	832,356	2,723,318	-	2,723,318	-	2,723,318
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	1,827	8	1,836	5,608	7,445	△7,445	-
計	1,195,786	697,003	832,364	2,725,155	5,608	2,730,763	△7,445	2,723,318
セグメント利益 又は損失(△)	196,317	△36,073	8,438	168,683	△296	168,386	7,327	175,714

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国における市場調査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7,327千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、米国にSMIA Corporationを新たに設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

クラウドサービス事業において、当社が開発を行ったソフトウェアについて、収支計画の見直しを行った結果、63,326千円の減損損失を計上しております。また、報告セグメントに帰属しない全社資産において、過去に開発した請求業務支援システムの利用を見合わせたため、13,526千円の減損損失を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	クラウドサ ービス事業	エージェン ト事業 (注4)	eホールセ ール事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,311,527	735,789	847,769	2,895,086	-	2,895,086	-	2,895,086
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	141	2,141	-	2,283	8,959	11,242	△11,242	-
計	1,311,668	737,931	847,769	2,897,369	8,959	2,906,329	△11,242	2,895,086
セグメント利益 又は損失(△)	370,499	△130,608	8,736	248,626	△5,120	243,506	6,956	250,463

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国における市場調査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額6,956千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来、持分法を適用しない非連結子会社であったシナジーイノベーションズ株式会社を、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。当該会社の報告セグメントは、「エージェント事業」としております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、エージェント事業に計上しておりました、ソフトウェアライセンス販売に係る売上高及び売上原価を、管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、クラウドサービス事業に計上しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

クラウドサービス事業において、当社が開発を行ったソフトウェアについて、収支計画の見直しを行った結果、42,227千円の減損損失を計上しております。